

深大寺城跡、国の史跡指定に！ おしゃべりサロン「相互塾」

寺子屋風井戸端会議

(第95回)

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！



調布の戦国時代を語る深大寺城跡

日時：平成19年12月17日（月） 午後7時～9時

場所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）

語り手：小野崎満さん 調布市郷土博物館副館長 学芸員

定員：当日先着42名

深大寺城跡は今年7月、国の史跡指定を受け、東京都域に残る城跡としては、江戸城、滝山城、八王子城に次いで4番目の国史跡になりました。東京都域では戦国時代を中心に200近くの城が知られていますが、深大寺城のように今に残る城跡はごくわずかとなってしまいました。

深大寺城は天文6年、上杉朝定によって再興されたとの記録があります。朝定は室町幕府の役職、関東管領側の人物で、新興勢力の北条氏とは敵対関係にあり、深大寺城は、多摩川南側の北条方に対峙する前線基地として重要な役割を担っていました。その後、上杉方は敗れ、深大寺城はそのまま廃城となったと考えられています。

今回は、調布の歴史の中でも戦国時代にスポットを当て、深大寺城の役割や時代背景などに触れてみたいと思います。

ぜひご参加ください。

会場に「相互塾」関連の運営費（資料、チラシ、ポスター、会場など）のために『カンパ』の箱を置いています。ご協力お願いします。

【終了後懇親会（参加自由、実費3千円前後）を行います】

主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信（TEL&FAX 483-9993）

E-mail mmanob@sepia.ocn.ne.jp



（ウラへ続く）